



平成31年3月



Vol. 37

発行／名田島自治会連合会

編集／自治会総務部会

印刷／株式会社山口県農協印刷

三世代交流で今年も幕開け この1年の無病息災を祈念

1月14日（月・祝）、伝統行事を中心にした三世代交流行事が開催されました。真冬にしては大変穏やかな天候に恵まれ、今年1年が期待される1日となりました。

青少協による「もちつき」は次から次に「もち」が出来上がり、子ども会による「どんど焼き」は煙が空高く舞い上がり、婦人会の「七草がゆ」や山口健康生活センターの「七穀がゆ」そして「きなこもち」に舌鼓をうち、全員満足そうな様子でした。その後、山口市消防本部の指導により、婦人防火クラブや子供たちが消火訓練して終了となりました。



協力（山口市消防団川東方面隊名田島分団）

年末朝市in名田島

12月29日（土）、山口南総合センター大駐車場において、恒例の年末朝市が開催されました。

寒波の到来と雪の予報により、客足の遅れが心配されていましたが、当日は朝方雪が降ったものの交通には支障がなく、8時の開始前から行列のできるテントもいくつも見受けられました。終了前には、5周年を記念した餅まきがあり、大勢の人でにぎわっていました。



コウノトリとナベヅルが 田んぼで休憩

またきてねー!!
待ってるよー!!



絶滅危惧種で国の特別天然記念物のコウノトリが7月中旬昭和地区に1羽飛来しました。一昨年5月に生まれ、同年8月に兵庫県で放たれたメスということです。

撮影された西田克美さんによると、「水田で毛づくろいをしたり、えさをついぼんだりする様子が見られた」ということです。

1週間程度滞在していたようです。



10月下旬から11月初めにかけて、コウノトリ2羽が南部付近（向山下、新開作、昭和、二島の上田）を1週間から10日ぐらい飛び回っていました。（中村芳男さん情報提供）

11月初旬、ナベヅルが昭和地区に飛来しました。幼鳥のようです。（中村芳男さん情報提供）

平成30年度
名田島
ふるさと大学

「終活」についての話

講師：行政書士 原田 和弘 氏

生涯学習部会では、第1回ふるさと大学を2月27日(水)、地域交流センターで行いました。東開作の行政書士原田和弘氏を講師に迎え、「終活」についてと題して講義していただきました。

内容は、相続・遺言・成年後見などについてのお話で、各項目ごとに区切った話でとても理解しやすい講義となりました。



話が始めると総勢24名の受講者は、静かに又熱心に受講されていました。

休憩時間には、話の内容について人ごとではない、わが家も具体的な準備をしなければとの声が多く、又質問の時間では多くの質問が出され、予定時間も

オーバーするほど盛会でした。このような講座をまた開いて欲しいとの意見も出ていました。

講師の原田さんは第3金曜日と第3日曜日の午後いきいきやかたで「無料相談会」を開催されていますので、気軽にご相談ください。



今後の行事予定

4月18日(木)
平成31年度自治会連合会通常総会
4月28日(日)
第61回名田島地区民体育大会

「名田島」の情報を発信しています。(名田島自治会連合会)

- ・インターネットで情報発信
- フェイスブック ホームページ
- ・自治会連合会だより・・・毎月発行
- ・広報紙「田園」・・・年3回発行

フェイスブックは [Facebook](#) 自治会連合会名田島

検索

第
47回

名田島ふるさとまつり

11月25日（日）に山口南総合センターを中心に、「名田島ふるさとまつり」が開催されました。

当日は好天に恵まれ、各団体の工夫をこらした販売や展示あるいは演芸などにより楽しい1日が盛況のうちに終了しました。なお、今年はじゃがいも掘りが復活し、西開作下のほ場に多くの人が詰めかけていました。



もちまき



じゃがいも掘り

11月は、

みんな元気にウォーキング



健康チャレンジウォーキング

11月12日（月）に光市室積半島にある峨嵋山自然研究路でトレッキングを楽しんだ後、柳井市内まで足をのぼし、白壁の町並みを散策しました。



ふるさと探訪ウォーキング

11月18日(日)に島上・島下方面、約3kmの道のりを散策しました。好天に恵まれ、22名の参加者は心地よい汗をかき、ふるさとを再発見することができました。



平成31年 山口市消防出初式



1月6日（日）、山口南総合センターにおいて、消防出初式が行われました。
川東方面隊名田島分団（団員数34名）は式典や観閲行進などに参加し、名田島婦人会は豚汁やぜんざいの接待で協力しました。
なお、名田島分団は毎年、放水のための水を確保するため、グラウンド側の川のせき止め作業をしています。今年も、12月23日（日）に行いました。



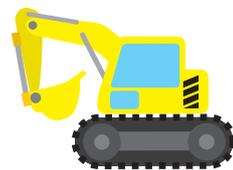
料理教室



2月6日(水)、地域交流センター調理室において、「野菜たっぷり減塩レシピ」をテーマに料理教室を行いました。この日の献立は、もち麦ご飯・ぶりの照り焼き梅風味・豚と切り干し大根炒め煮しょうが風味・あざりと野菜の和風チャウダー・果物でした。食推さんのご指導のもと16名の参加者は手際よく調理し、和気あいあいとおしゃべりをしながら完食！
少ない調味料でも、ちょっとした工夫で美味しくいただくことができ、たくさんの野菜も摂れました。



念願の工事始まる



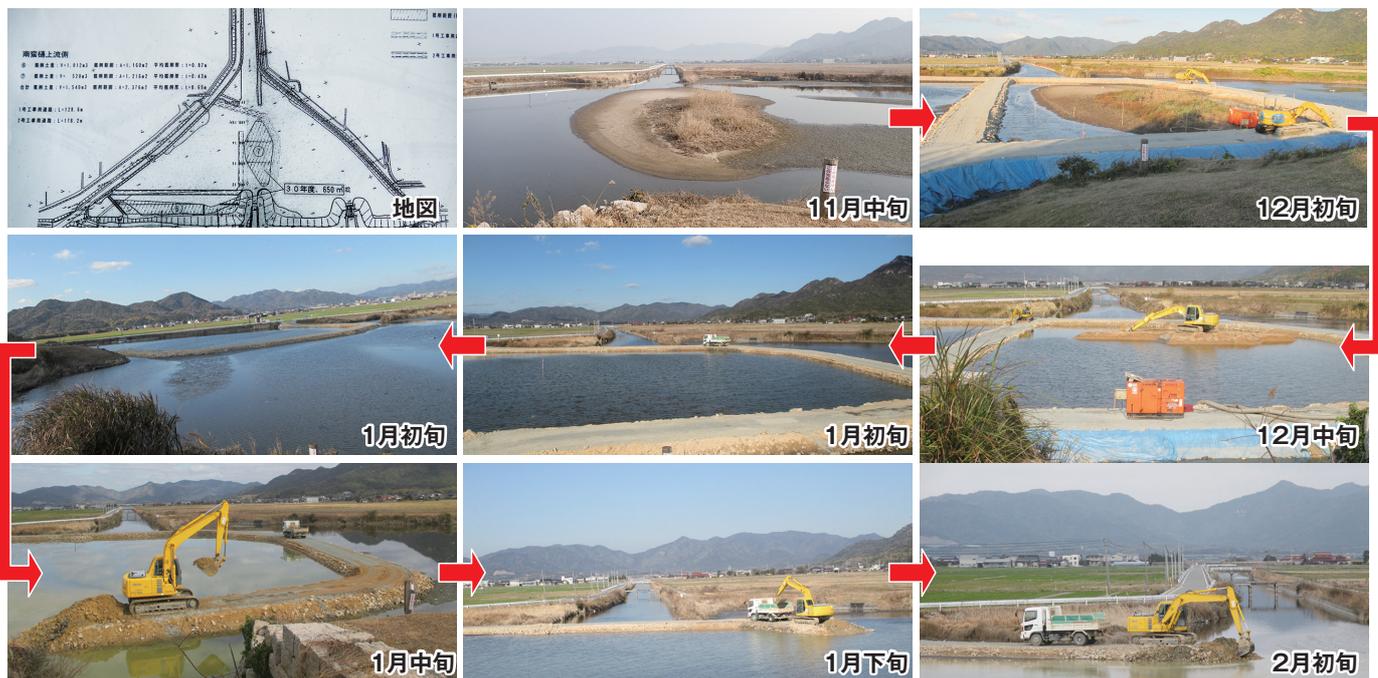
南蛮樋のしゅんせつ工事

新開作にある南蛮樋は、平成8年3月に国の史跡に指定され、平成19年度末には「整備基本計画」が策定されました。

この計画の具体化にむけて検討・決定する「保存整備委員会」が平成27年度から開催され、現在も続いています。名田島から出ている地元委員3名は、繰り返し「南蛮樋は名田島にとっては重要な水利施設であるから、その機能を十分果たせるように整備してもらいたい」と要求してきました。

平成29年度の保存整備委員会で、ようやく南蛮樋北側遊水池の景観復元と水利機能の回復のために、池中央に堆積している泥土を浚渫することが決定され、平成30年度から施工することになりました。

平成30年11月から遊水池中に仮設道路を造り、池の底約40cmまで泥土をすき取り他所に搬出しました。浚渫を要する泥土は全体で約1,500m³ですが、今回は池中央の堆積土を中心に約650m³を浚渫しました。残りの850m³余については、平成31年度以降も継続して浚渫することになっています。



念願の工事近づく



西開作の榎野川護岸工事

名田島は干拓地で農地や宅地が海拔0mとなっており、干潟に堤防を築いて農地や宅地を造っているのです。満潮時は水面下になります。

こうした環境の中、西開作下付近の榎野川堤防の護岸については、上部および基壇部分が未整備となっている区間があることから、地域住民が不安を感じてきました。そこで護岸整備について、平成22年から毎年継続して山口県に要望し、また、平成29・30年度の車座トークにおいて山口市長に対しても要望してきたところです。

長年の要望が実を結び、平成30年度は山口県において未整備区間(L=115m)の測量・設計が行われ、平成31年度から工事が実施される予定です。

工事の完成により、地域住民の不安が解消されます。



「私たちの活動」の今

団体活動の紹介

名田島婦人会 会長 田中良子

私たち婦人会は健やかな子供が育つふるさとづくりを推進し、生涯学習をすすめ、防火防災に努め、安心安全な社会を旨として活動しています。

地区内では、交通安全立哨・火の山登山の弁当づくり・料理実習・健康や生活に関する研修・敬老会でのお手伝い・ふるさとまつりのバザーなどがあります。

また、山口支部の活動としてパークロードの清掃・リサイクルプラザでのエコパークまつりのバザー・地元南総合センターでの山口市消防出初式の式典参加や豚汁づくりなどがあります。また親睦を



深めることができる研修旅行もあります。

会員も段々と高齢化してまいりました。決して無理をせず、それでもはつらつと生きがいのある楽しい活動ができることを目指しています。

「みんなの名田島」

名田島の「身近な出来事や風物など」を記事と写真で紹介します。

「みんなの名田島」欄に
珍しいこと、情報ニュース等を寄稿下さい。
名田島自治会連合会 083-973-7551

榎野川淋洗堰 名田島に流れ込む水はどこから来るの？

県下有数の穀倉地帯の名田島の水田に流れ込む用水はどこが水源なのでしょう。と小学校の児童に聞いたことがあります。多くの児童は具体的には分からなく、一部の児童が「榎野川」と答えました。

当地区の用水路中、最も重要な幹線は榎野川を堰き止め小郡の淋洗大井手から取水されています。

この淋洗堰は全長137メートル、取水口は東に1ヶ所、西に2ヶ所あり、それぞれ用水路で名田島の開作390ヘクタール、小郡・嘉川の開作83ヘクタールに水を供給しています。

この井手は寛永・万治(1640～1660頃)の頃に小郡宰判の代官東條九郎右衛門によって築造された。と村史にあります。その後、何度も水害に遭い改修に改修を重ねてきています。

また、明治11年から榎野川改修運動が起り、明治20年1月から9ヶ年かけ明治29年6月に竣工し両岸住民の宿望が達成されたと記されています。昭和26年、農業用水の確保を目的に山口市榎野川東土地改良区が組織され、県営かんがい排水事業として昭和28年に完成。その後、2回の改修(昭和43年・平成10年)が行われ現在に至っています。

この井手用水幹線は取水口から南下し県道を横断し、妙湛寺百谷山麓に沿って南流(上用水1区・2区)し、また県道を横断し榎野川添い(3区・4区)に南下し亀谷山麓から昭和橋の下で二派に分岐し、その一つは新開作水路としてJ R山陽本線を横断して榎野川堤防内側に併行し新開作90ヘクタール余の耕

地をかんがいし、もう一方の用水は上用水から東に折れ、中用水を経て県道を横断し島用水路と西開作水路へと分かれ、最後は中川から昭和開作を経て海へ流れます。

3本の用水路を経て500ヘクタールの水田を潤おしています。

淋洗井堰管理委員会委員長

山口市榎野川東土地改良区理事長 浅原 利夫



取水口



鴻城高校グラウンドのフェンスを望む